

子どもたちにとって より良い「学びの場」をめざして

～長期学校改築計画の「たたき台」を検討しています～

▼問い合わせ先 学校教育課

市内の小学校は、そのほとんどが建築から40年以上が経過し、老朽化が進行しています。このため、安全で使いやすい校舎を整備することが重要な課題となっています。

一方、人口動向に目を転ずると、少子化・人口減少の流れに歯止めがかからない中で、児童・生徒数も減少することが避けられない状況にあります。また、教育面においても、情報通信技術（ＩＣＴ）の活用がますます盛んになったり、小学校で英語が教科となるなどのほか、「教えて身に付ける教育」から、子どもの能力や可能性を引き出し、主体的に人生を切り拓く「意欲と志を育む教育」へと大きく変わろうとしています。

教育委員会では、こうした様々な状況を踏まえ、より良い今後の学校、すなわちより良い「子どもたちの学びの場」のあり方を含めた「長期学校改築計画」の策定に向けて取組みを進めています。

▶「長期学校改築計画検討会」を設置して『たたき台』を作成

老朽化した学校の改築に向けては、これまでに下記のような取組みを行ってきました。そして、平成28年10月の「長期学校改築計画に関する市民学習会」において、多くの皆様から、「長期学校改築計画の策定にあたっては、検討組織を設け、早期に計画の『たたき台』をつくるべき」とのご意見をいただきました。

これを受けて、平成29年1月、17名の委員からなる「長期学校改築計画検討会」を設置しました。

▶『たたき台』をもとに、市民の皆様と合意形成

検討会は、毎月1回のペースで開催し、平成30年1月を目途に『たたき台』を教育委員会へ提言していただく予定です。この検討の過程では、市民の皆様との意見交換の機会も設けたいと考えています。

なお、「たたき台」づくりにあたっては、校舎をどうするかという施設面からだけでなく、小諸市全体として、「子どもたちにとってより望ましい学校の姿とはどうあるべきなのか」という視点を中心に据えていくこととしています。

検討会から『たたき台』を提言していただいた後は、それに基づいて、市民の皆様との合意形成を進め、「長期学校改築計画」として策定する予定です。

～これまでに、下記のような意見交換の場を設け、多くの皆様のご意見を伺ってきました～

●平成26年度 「学校給食のあり方についてのワークショップ」

小中学校ごとに開催し、誰もが一番身近に感じることのできる学校給食についてご意見をいただきました。

●平成27年度 「学校改築計画づくりに向けての懇談会」

小学校区ごとに開催し、望ましい教育環境や学校施設の整備などについてご意見をいただきました。

●平成28年度 「学校改築市民懇話会」（5月開催）

上記懇談会の結果について報告し、今後の学校改築の進め方について話し合う「きっかけづくり」として開催しました。

●平成28年度 「長期学校改築計画に関する市民学習会」（10月開催）

学校施設の現状、児童・生徒数の推移、財政状況などの客観的なデータを示し、計画策定に向けた今後の進め方などについてご意見をいただきました。この中で、多くの皆様から「検討組織を設け、早期に計画の『たたき台』をつくるべき」とのご意見をいただきました。